

高知県感染症発生動向調査（月報）

2017年4月

高知県感染症情報センター

高知県衛生研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第14週(4月3日～)から第17週(～4月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における4月の上位6疾患の合計は58.22で3月の4週換算値76.98に比べて減少した。減少の原因は12月から流行していたインフルエンザの減少である。1位は感染性胃腸炎で24.90(3月2位4週換算で21.74)とわずかに増加した。2位がインフルエンザで16.23(同1位39.57)と減少した。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.46(同3位9.36)と横ばいで、4位がロタウイルス性胃腸炎で3.24(同5位2.00)と増加した。5位は流行性角結膜炎で2.22(同6位1.88)とわずかに増加し、6位は流行性耳下腺炎で2.17(同4位2.42)とわずかに減少した。

県外で麻疹が流行している。2017年第1～14週に診断された麻疹患者数は114例で、2016年同時期の6例を大きく上回っている。うち、検査診断例が109例(96%)で、そのうち51例が修飾麻疹である。多い地域は、山形県35例、三重県20例、東京都13例、広島県11例、注目されるのは香川県の5例で第5位に名を連ねた。推定感染地域は国内が93例、国外が21例である。未だ高知県での発生はないが、香川県の事例にくわえて、最近では海外からの大型客船寄港の機会も増えており、要注意である。1歳児(I期)と就学前の1年間(II期)の定期予防接種の徹底がきわめて重要である。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	14週	15週	16週	17週	計
1	感染性胃腸炎		5.63	6.02	6.65	6.60	24.90
2	インフルエンザ		5.06	3.98	4.06	3.13	16.23
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.92	2.20	2.65	2.69	9.46
4	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0.77	0.79	0.84	0.84	3.24
5	流行性角結膜炎		0.55	0.53	0.58	0.56	2.22
6	流行性耳下腺炎		0.57	0.58	0.49	0.53	2.17

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の4月の上位6疾患の合計は32.23で3月の4週間換算値70.71と比べて減少し、全国よりも少なかった(表2)。減少の主たる原因はインフルエンザの減少である。2016/17シーズンは本県でA香港H3が61件、AH1pdm09が7件検出されており、全国の流行株の比率と同様である。1月以降にB/Victoriaが4件、B/Yamagataが2件検出された。1位は感染性胃腸炎で10.97と、3月の2位から順位を上げたものの4週間換算値17.18に比べて減少した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で8.13(3月3位9.06)と比べわずかに減少した。3位がインフルエンザで8.00(同1位40.75)と大幅に減少した。高知県は全国よりも流行開始が遅かったが、全国を上回り、本格的な大きな流行になった。2月は、インフルエンザは多い数字で推移したものの、第5週以降は週ごとに徐々に減少し、流行収束に向かっている。4位は水痘で1.90(同6位1.06)、5位はロタウイルス胃腸炎で1.63(同11位0.30)といずれも増加した。6位は突発性発疹で1.60(同4位1.45)と横ばいだった。県内の報告は、水痘のみ全国よりも多く、他の上位5疾患は全国よりも少なかった。

県衛生研究所移転作業で、検体受け入れを制限した影響で、4月のウイルス・細菌の検出は少なく限られたものとなった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	14週	15週	16週	17週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎	2.67	2.80	3.17	2.33	10.97
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.67	1.90	2.23	2.33	8.13
3	インフルエンザ	3.52	1.88	1.58	1.02	8.00
4	水 痘	0.47	0.50	0.33	0.60	1.90
5	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)	0.50	0.13	0.75	0.25	1.63
6	突 発 性 発 疹	0.20	0.43	0.57	0.40	1.60

2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 384名（3月 2,445名）。全国では前年第34週以降に報告が増加した。本県での流行開始は遅れたが、11月からまとまった報告があり、12月には著増し流行期に入った。12月としては、過去10年間のうちで、パンデミックとして記憶に新しい2009年に次ぐ多い報告数であった。1月は、過去10年間では同時期として5番目の報告数だった。しかし、2月は、同時期として過去10年間で最多の報告となり、都道府県別での最多を記録し、1か月間として、2015年1月、2016年3月、2009年11月に次ぐ報告数であった。3月以降は平年並みの数に落ち着いてきたが、今季は、流行期間も長いことから大きな流行になった。

広い年齢層で報告され、20歳未満が52.1%と3月の54.8%よりも減少し、成人患者の割合が高くなったことを意味している。成人患者が多いことは今季流行のひとつの特徴であった。中央西、高知市、須崎、幡多、中央東、安芸の順に多かったが、県下全域で警報基準（定点当たり30以上）を下回った。ウイルスはA香港H3が5件、Aソ連H1pdm09が1件、B/Yamagataが1件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 10名（3月 23名）。中央西、高知市、中央東、幡多から、表記の順に多く報告された。同時期として平年なみの報告数となった。ウイルスは検出されていない。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 244名（3月 340名）。2014年10月以降多い報告数が続き、2015年12月以降は2016年3月に至るまで、同時期として過去10年間では最大の流行となった。2016年5月以降にいったん沈静化した。9月以降には再びゆるやかに増加し100台で推移し、11月-1月は平年並みの数となっていた。2月に再び増加し、3月4月と多い数字で推移している。県下全域から報告があり、特に須崎、高知市、幡多からの報告が多い。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 329名（3月 644名）。高知市全域で警報基準値20を下回ったが、高知市、中央東で多く報告された。病原体は検出されていない。

ロタウイルスは2011年11月に任意ワクチンが導入されて2013年11月からサーベイランス調査が開始された。ロタウイルス胃腸炎は、2016年は3月に増加し、2013年11月以降では最多の患者数（101名）が報告されたが、4月は36名、5月は13名、6月以降は1～3名と減少していた。2017年も3月から全国で流行が始まっている。4月は高知市で12名、幡多で1名、合計13名の報告があった。本県でのワクチン接種率は乳児の4割程度で、全国よりも低いと推測されているので、今後の動向が注目される。

5) 水痘

報告数 57名（3月 40名）。安芸、高知市、中央東、中央西、幡多から表記の順に多く報告された。2

015年からの水痘ワクチン定期化の効果で、少ない数字で推移していたが、昨年12月は155名と大幅に増加、1月72名、2月30名、3月40名と減少したが、4月は57名と増加した。2014年10月から始まったワクチン定期化の開始前よりは少ない報告数で推移している。定期予防接種の恩恵を受けていない5歳以上と乳児が20名（35%）を占めていた。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 0名（3月 2名）。初夏に流行が始まる感染症で、報告はなかった。

7) 伝染性紅斑

報告数 12名（3月 14名）。2015年以降、全国的に例年に比べてやや多い数で推移している。幡多、中央東、高知市、中央西から報告があり、表記の順に多かった。ウイルスは検出されていない。

8) 突発性発疹

報告数 48名（3月 54名）。想定内の変動で推移している。

9) 百日咳

報告数 1名（3月 6名）。高知市から1名3歳児例が報告された。3月末に採取された検体から *Bordetella pertussis* が1件検出されている。

10) ヘルパンギーナ

報告数 1名（3月 1名）。例年6-7月から流行がみられる。今年はまだウイルスは検出されていない。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 28名（3月 27名）。須崎、中央東、高知市、中央西、幡多から表記の順に多く報告された。2月以降に須崎で流行がある。全国的にも増加が報告され注目されているが、今後、高知県でも流行すると予想されている。ウイルスは検出されていない。

12) RSウイルス感染症

報告数 34名（3月 35名）。中央西を除く地域から報告があり、高知市、幡多、須崎で報告が多い。RSウイルスBが1件検出されている。

13) 流行性角結膜炎

報告数 0名（3月 1名）。ここ3年間は一桁で推移している。

14) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（3月 0名）。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。

15) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（3月 1名）。昨年はEchovirus 6が6例検出されており、今年の動向に注意したい。

16) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 9名（3月 12名）。幡多、中央東、高知市から報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 22名（3月 21名）。例年並みの数で推移している。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（3月 1名）。2017年は3月に1例報告されている。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例報告があった。

高知県における月別全数報告疾患（平成29年4月）

類型	病名	報告月				総計
		1月	2月	3月	4月	
2	結核	5	7	10	8	30
4	つつが虫病	1				1
	レジオネラ症		1			1
	日本紅斑熱				1	1
5	アメーバ赤痢			2	1	3
	ウイルス性肝炎			1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1	1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			1
	後天性免疫不全症候群		1		1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	3	3	10
	播種性クリプトコックス症			1	1	2
	梅毒	2	1	1	1	5
	総計	12	13	20	17	62

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2017年

4月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ	14	62	149	66	36	57	384	2,445	1,009	
小児科	咽頭結膜熱		2	5	2		1	10	23	16	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	23	140	9	31	37	244	340	242	
	感染性胃腸炎	16	98	167	4	13	31	329	644	579	
	水痘	7	13	31	5		1	57	40	13	
	手足口病								2	4	
	伝染性紅斑		4	4	1		3	12	14	22	
	突発性発疹	5	13	17	4	3	6	48	54	42	
	百日咳			1				1	6	8	
	ヘルパンギーナ		1					1	1	8	
	流行性耳下腺炎		5	7	1	14	1	28	27	59	
	RSウイルス感染症	1	1	23		2	7	34	35	68	
	眼科	急性出血性結膜炎									
流行性角結膜炎									1	2	
STD	性器クラミジア感染症			2				2		2	
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ			1				1			
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎								1	1	
	マイコプラズマ肺炎		1	3			5	9	12	13	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1	3	2	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)			12			1	13	3	36	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	3	15			3	22	21	20	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								1	1	
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
計		48	226	578	92	99	153	1,196	3,673	2,147	
前月		116	710	1,320	325	229	973				
前年同月		106	455	809	210	171	396				
小児科定点数		2	7	11	3	2	5				

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2017年

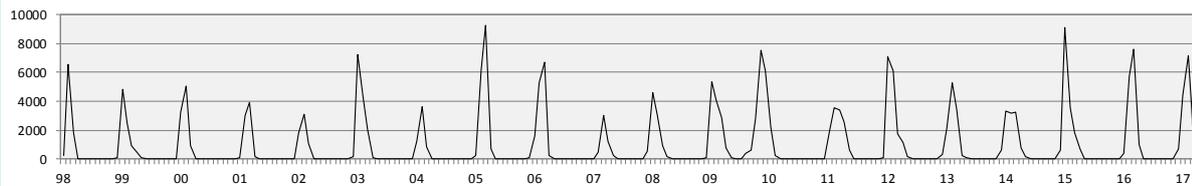
4月

定点当たりの人数

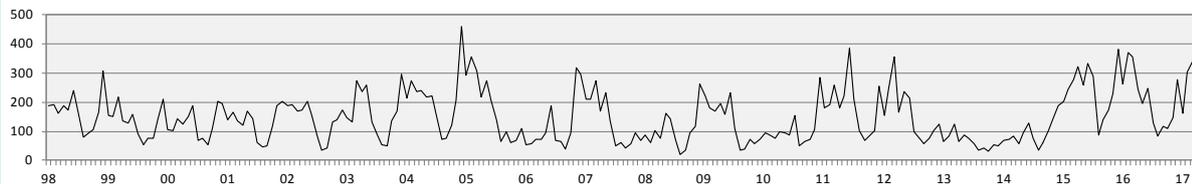
定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	3.50	5.63	9.32	13.20	9.00	7.13	8.00	50.94	21.03
小児科	咽頭結膜熱		0.28	0.45	0.66		0.20	0.33	0.78	0.54
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	3.29	12.73	3.01	15.50	7.40	8.13	11.33	8.06
	感染性胃腸炎	8.00	14.01	15.18	1.33	6.50	6.20	10.97	21.47	19.30
	水痘	3.50	1.86	2.82	1.67		0.20	1.90	1.33	0.43
	手足口病								0.06	0.13
	伝染性紅斑		0.58	0.36	0.33		0.60	0.40	0.46	0.73
	突発性発疹	2.50	1.86	1.54	1.33	1.50	1.20	1.60	1.81	1.39
	百日咳			0.09				0.03	0.19	0.27
	ヘルパンギーナ		0.14					0.03	0.03	0.26
	流行性耳下腺炎		0.71	0.63	0.33	7.00	0.20	0.93	0.89	1.97
	RSウイルス感染症	0.50	0.14	2.09		1.00	1.40	1.12	1.17	2.27
	眼科	急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎									0.33	0.67
STD	性器クラミジア感染症			1.00				0.33		0.33
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ			0.50				0.17		
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎								0.13	0.13
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.60			5.00	1.14	1.51	1.63
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13	0.38	0.26
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)			2.40			1.00	1.63	0.38	4.51
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	3.00	3.00			3.00	2.75	2.63	2.50
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								0.13	0.13
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		20.00	28.50	45.21	21.86	40.50	24.53	33.44	90.46	56.38
前月		43.25	76.42	93.82	72.88	72.25	143.91			
前年同月		36.25	53.19	58.90	58.00	65.25	59.51			

注目される疾患別月別推移

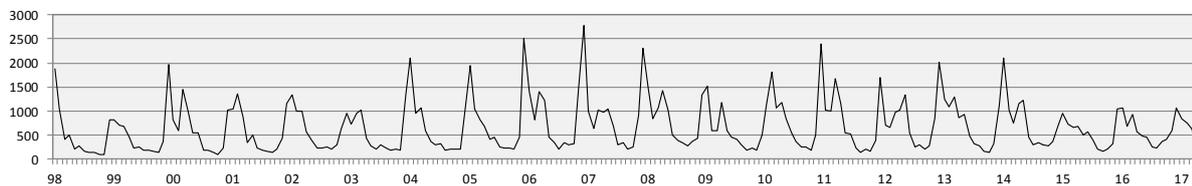
インフルエンザ



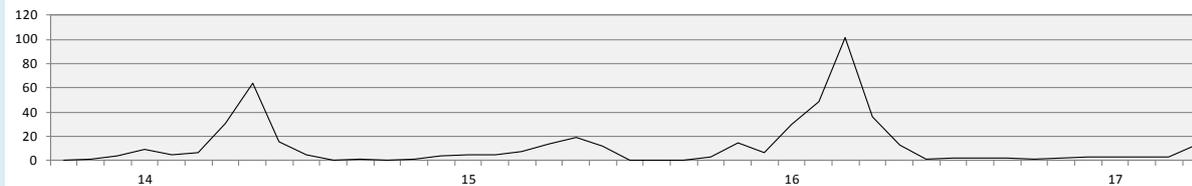
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



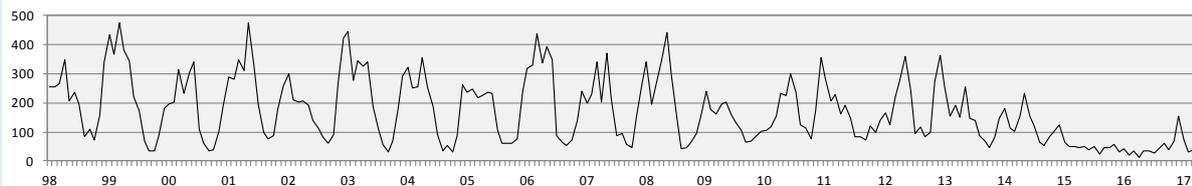
感染性胃腸炎



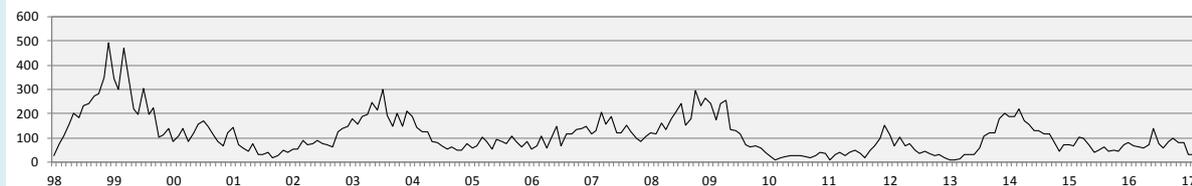
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)



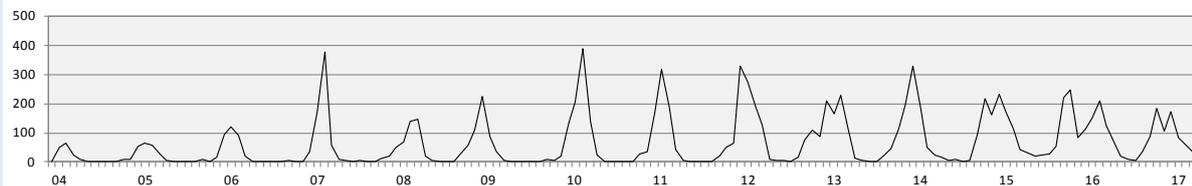
水痘



流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症



高知県感染症情報(月報)

平成29年4月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

4月はウイルス22件、細菌7件の搬入があり、そのうちウイルス8件、細菌1件の病原体を検出した。また、平成29年3月に搬入された検体でウイルス3件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Influenza virus A H3 NT 7件、Influenza virus A H1pdm09 2件、Influenza virus B/Yamagata 1件、Respiratory syncytial virus B 1件、また、細菌の内訳は、*Bordetella pertussis* 1件であった。

なお、衛生研究所が設置されている高知県保健衛生総合庁舎の改築工事に伴う機器等の移設作業の影響で3月16日(木)～4月16日(日)まで病原体の検査を中止させていただいておりました。但し、インフルエンザ定点については中止期間中の検体についても受け入れています。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	6	女	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	3/17	Influenza virus A H3 NT
2	2	女	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	3/21	Influenza virus A H3 NT
3	4	女	百日咳	39°C,肺炎,	ぬぐい液	3/24	<i>Bordetella pertussis</i>
4	9	男	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	3/27	Influenza virus A H1pdm09
5	15	男	インフルエンザ	38°C,咳漱,上気道炎,	ぬぐい液	3/28	Influenza virus A H3 NT
6	6	女	インフルエンザ	38°C,咳漱,	ぬぐい液	4/5	Influenza virus B/Yamagata
7	1	男	不明発疹症	39°C,咳漱,発疹,	ぬぐい液	4/15	Respiratory syncytial virus B
8	57	女	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	4/16	Influenza virus A H3 NT
9	6	男	インフルエンザ	39°C,咳漱,筋肉痛,	ぬぐい液	4/17	Influenza virus A H1pdm09
10	4	男	インフルエンザ	39°C,咳漱,	ぬぐい液	4/21	Influenza virus A H3 NT
11	10	男	インフルエンザ	38°C,咳漱,上気道炎,	ぬぐい液	-	Influenza virus A H3 NT
12	67	女	インフルエンザ	38°C,	ぬぐい液	-	Influenza virus A H3 NT

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2017年				2017年 総計
		1	2	3	4	
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus agalactiae</i>		1			1
	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>		1			1
	<i>Streptococcus pyogenes Untypable</i>		2			2
	計		4			4
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	22	19	7	5	53
	Influenza virus A H1pdm09	2	2	1	1	6
	Influenza virus B /Victoria	1	2	1		4
	Influenza virus B Yamagata		1		1	2
	計	25	24	9	7	65
咽頭結膜熱	Adenovirus 1	1				1
	Adenovirus 2			1		1
	Adenovirus 3			1		1
	Echovirus 9			1		1
	Human herpes virus 6			1		1
	計	1		4		5
感染性胃腸炎	Adenovirus 2			2		2
	Astrovirus NT		2			2
	Coxsackievirus B1			1		1
	Norovirus GII NT	9	3	3		15
	Rhinovirus	1				1
	Rotavirus group AG9	2				2
	Sapovirus genogroup unknown	1		1		2
	<i>Staphylococcus aureus V</i>			1		1
	計	13	5	8		26
伝染性紅斑	Human herpes virus 7	1	1			2
	計	1	1			2
百日咳	<i>Bordetella parapertussis</i>					
	<i>Bordetella pertussis</i>	2	1	2	1	6
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	2	2			4
	計	4	3	2	1	10
流行性耳下腺炎	Mumps virus					
	計					
無菌性髄膜炎	Varicella-zoster virus		1			1
	計		1			1
その他	Adenovirus 1	1				1
	Adenovirus 3	1				1
	Coxsackievirus A2	1				1
	Cytomegalo virus	3				3
	Echovirus 3			1		1
	Epstein-Barr virus	1				1
	Human herpes virus 6	1				1
	Human herpes virus 7	2	1	1		4
	Human metapneumovirus		1			1
	Norovirus GII NT		1			1
	Respiratory syncytial virus A		1			1
	Respiratory syncytial virus B	1			1	2
	Rhinovirus	1	1	1		3
計	12	5	3	1	21	
総計		56	43	26	9	134

類型	病名	報告年																												総計			
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30												
2	結核	131 149 163 156 192 132 128 138 129 122 30																												1470			
	計	131 149 163 156 192 132 128 138 129 122 30																												1470			
3	コレラ	1																												3			
	パラチフス	2																												2			
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2																					25			
	腸チフス	1																												3			
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	1	34					191									
計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34					224										
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1												3					32						
	Q熱	1	1	2																												5	
	オウム病	1																												2			
	つつが虫病	9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3					75												
	マラリア																												3				
	レジオネラ症	2																												52			
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	1					144								
	日本脳炎	1	1	1																												6	
	レプトスピラ症																												8				
	E型肝炎																												2				
	デング熱																												7				
	重症熱性血小板減少症候群																												24				
	計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	3					360								
5	アメーバ赤痢	2	2	2	1	2	2	2	1												3	2	2	3	7	3	2	3				39	
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3					3	1					55									
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																												50				
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4																												28	
	ジアルジア症	1	2	1																												7	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1																												3			
	急性脳炎																												17				
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症																												14				
	後天性免疫不全症候群	2																												61			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																												11				
	侵襲性肺炎球菌感染症																												43				
	水痘(入院例に限る)																												3				
	播種性クリプトコックス症																												3				
	髄膜炎菌性髄膜炎																												1				
	破傷風	3	2	2	1																												29
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	5					139								
麻しん																												5					
風しん																												16					
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	29					524									
新型	新型インフルエンザ	34																												34			
	計	34																												34			
動物	鳥インフルエンザ	1																												1			
	計	1																												1			
総計	61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	62					2613									